



なわしょうつうしん 暁小通信

学校だより

学校教育目標

「みんなで輝き合う 暁小」

～NAんどでも WAくわく

TEAMで～

令和8年度 第5号 令和8年7月21日発行 四條市立四條暁小学校

校長 香村 紀子



いちがっき しゅうぎょうしき
一学期 終業式がおわりました！

なつやす はじ
夏休みが始まりました！



きょう なつやす よっかめ
今日は夏休み四日目。みなさん、どのように過ごしていますか？とてもとても暑い毎日です。
すいぶんほきゅう ときどきからだ やす ねっちゅうしょう
水分補給や時々体を休めるなど、熱中症にならないよう気をつけてくださいね。

さて、7月17日(金)は一学期の終業式でした。始業式のときも思ったのですが、みなさん
うた こうか こえ げんき
の歌う「校歌」の声がとても元気で、すてきで、心にジーンと来ます。そして、お話を聞く
すがた いちがっき にち あいだ せいちょう かん
姿からも、一学期の67日の間に、みなさんがずいぶん成長したことを感じました。

どきどきした入学式や始業式の日。緊張や不安のある始まりでしたね。それが今となって
は、また新たなメンバーとの仲間づくりが進み、教室には一学期のはじめとは違う少し余裕
のある、なにかどっしりとした雰囲気を感じられました。ここまでには、様々なできごとや思い
があったと思いますが、よくがんばりました。慣れてきたからこそ、うまくいかないことだってあ
るし、逆にうれしいこともあります。そうやって、いろんな思いの中でみなさんはこれからも周
りとのつながりを学んでいくのですね。

なつやす はじ ひ で あ とも なつやす たの
夏休みが始まろうとしていたある日。ろうかで出会ったお友だちが、「夏休み、楽しみやね
ん！いとこの家に行くねん！」と夏休みの予定をうれしそうに教えてくれました。長いお休みの
じかん
時間は、いつもはなかなかできないことができるといいなあ。なかなか会えない人にも会え
るといいなあ。そうして夏休みの間に、たくさん心のエネルギーをためてください。

しゅうぎょうしき はなし いちがっき だいいち
終業式でもお話しましたが、一学期のとってもうれしかったことの第一位は、「みんなの
あいさつが、たくさん増えたこと」。時々、朝の登校のときに一緒にみなさんを迎えてくださる
きょういくちょう こ い げんき
教育長さんが「子どもたち、よくあいさつしますよね。」と言ってくれるほどなんです。元気

な声^{こえ}であいさつ^{ひと}する人、あいさつ^かの代わり^{はなし}にお話^てしてくれる人、ちょっと照れくさくて視線^{しせん}を送^{おく}ってくれたり、うなずいたりしてくれる人。あいさつ^{ひと}の様子はさまざまですが、多く^{ようす}の人があ
いさつ^{おも}することを大切に思^{たいせつ}ってくれたかな、と思^{おも}っています。二学期も、気持ちよいあいさつで
いっぱい^{なわしょう}の躰小^{なわしょう}になりますように♡

まずは、せっかく^{なつやす}の夏休み^{おも}を思いっきり楽しむため^{たの}にも、「早ね^{はや}・早おき^{はや}・朝ごはん^{あさ}」を守^{まも}
りながら、体^{からだ}に気^きをつけて暑い毎日^{あつ}を元氣^{まいにち}にすご^{げんき}してください。

8月26日(水)、笑顔^{がつ}いっぱい^{にち}のみなさん^{すい}に会^{えがお}えるのを楽^あしみにして^{たの}います！

5年生 林間学校に行ってきました！

今年^{ことし}の梅雨^{つゆ}は、雨^{あめ}が多くて気温^{おお}も低^{きおん}めでした。例年^{れいねん}蒸し暑^{むあつ}さを感じる^{かん}ものですが、今年^{ことし}はそこまで
ひどくはなかったですね。だからこそ、この5年生^{ねんせい}の林間学校^{りんかんがっこう}は心配^{しんぱい}でした。少し前^{すこ}から、とても
暑^{あつ}くなる予報^{よほう}がされていたのです。しかも前日^{ぜんじつ}の7月8日^{がつにち}には、「梅雨明け宣言^{つゆあせんげん}」が！心配^{しんぱい}が倍^{ばい}にふ
えました。そんな心配^{しんぱい}をよそに、さすが^{こうげん}高原^{こうげん}。そこまでの暑^{あつ}さではなかった、と子どもたちは言^いって
ました。たった2日間^{ふつかかん}の行事^{ぎやうじ}でしたが、帰^{かえ}って来^きた時^じの子どもたちの表情^{ひようじよう}にどこか^{せいかん}、
た。解散式^{かいさんしき}で感想^{かんそう}を发表^{はつぴよう}する子どもたちがたくさんいたことも、すごいなあ、
と感心^{かんしん}。きっと出発式^{しゅっぱつしき}や解散式^{かいさんしき}だけでなく、林間学校^{りんかんがっこう}のプログラム^{なか}の中で、自分^{じぶん}
の役割^{やくわり}をしっかりと果^はたしたに違^{ちが}いありません。

すてきな経験^{けいけん}でしたね。かっこよさを増^ました5年生^{ねんせい}になりました！



通知表を子どもたちに渡しました。



子ども^このころ、通知表^{つうちひょう}が大きいでした。いくらがんばっても、いつも怒^{おこ}られる材料^{ざいりよう}でしかなかったのです。
できればそんなふう^{つうちひょう}に通知表^こが子どもたちにきらいなものとして位置^いづいてほしくありません。

通知表^{つうちひょう}で示^{しめ}していることは、子どもたちの学習^{がくしゅう}の一面^{いちめん}でしかありません。一つひとつ^{ひと}の評価^{ひようか}の裏^{うら}には、
通知表^{つうちひょう}には表^{あらわ}しきれない子ども^この学び^{まな}の姿^{すがた}があります。ある学年^{がくねん}では、子どもたちが「あーでもない、こ
ーでもない」とうなりながら考^{かんが}える姿^{すがた}が見^みられてきていると担当^{たんとう}の先生^{せんせい}が教^{おし}えてくれました。答^{こた}えを知る
のではなく、答^{こた}えを導^{みちび}き出^だす。この思考^{しこう}がこどもたちの考^{かんが}えを深く意味^{ふか}のあるものにします。小学校^{しょうがっこう}では、
答^{こた}えがある学^{まな}びも多^{おお}いのは事実^{じじつ}ですが、社会^{しゃかい}に出てみると答^{こた}えは一つでないことが多いです。とにかく考^{かんが}
えてみようとする姿勢^{しせい}、そして「わかる」ことより「わからないこと」を知る姿^{すがた}から、既成^{きせい}の考^{かんが}えにとらわれず
ぎず、周り^{まわ}も納得^{なっとく}する新^{あら}たな視^{してん}点^{かんが}での考^{かんが}えがうまれてくるのではないかと思います。

ぜひ、通知表^{つうちひょう}の奥^{おく}にある子どもたちのがんばり^こを見^みつけ、たくさんほめてください。

通知表^{つうちひょう}を持^もって帰^{かえ}ると、おうちでほめてもらえる、子どもたちの味方^ことなる通知表^{みかた}となりますように。